

第4次 八尾市地域福祉計画改定版

誰ひとり 取り残さない しあわせを感じる共生のまち
～ おせっかい 日本一 ～

自身の体験から実践へ

若ごぼうさんタイプ



自身や家族、身の回りの体験から
地域活動をスタート
興味だけで終わらず、ボランティア活動
などの実践をやるチャレンジャー
おせっかいの一員へ

教授タイプ



豊富な知識と経験を兼ね備えた
地域福祉のご意見番
知識をみんなと共有することで、
おせっかいの広がりと自身の知識の
さらなる成熟を期待

地域福祉のスペシャリスト

あなたはどんなタイプ？
みんなの力でつくる

おせっかい日本一

福祉活動の大ベテラン！ザ・おせっかい！

えだまめさんタイプ



さまざまな地域での活動を通して
おせっかいの顔として活躍中
自身の活動はもちろん、自らの経験を
語り、次世代を育てるのが目標
活動は次なるステージへ

紅たでさんタイプ



ひとりでやるよりみんなでやった方が、
「One for all All for one」が合言葉
調整役として、職種や年代を問わず
おせっかい仲間を増やす活動に汗をかく

みんなとの連携・協働の調整役



ボクらは紅たでさん
タイプだね

ある日のやり取り…

教授 × つなげる × ヤッピー

私の大学のゼミ生が自治体の相談体制について研究していますが、八尾市はおもしろい取り組みをしていますね。



市民が相談先で困ることの無いよう、断らない相談支援体制を作っています。



相談から明らかになった課題は、社協も連携して支援していますよ！

素晴らしいですね。
今度ゼミ生の実習先として八尾市を選ばせてもらっていいですか？



もちろんです！！
私たち断らないんで（笑）

えだまめさん × 若ごぼうさん

地域のイベントとか会議に行ってるけど、同じメンバーばかりやし、若い人も参加してくれたらもっと盛り上がるねんけどな～。



僕もおじいちゃんの世話をしている中で、もっとおせっかいしたいと思ってるんですけど、なかなか時間がなくて…

そんな大げさに考えんでええんやで。自分のペースで楽しくやらな！来週時間あったら1時間だけでも地域のイベント一緒に見に行く？



そんな感じでも良いんですね是非お願いします！
えだまめさん僕にもおせっかいしてますね（笑）

どんなタイプでもおせっかいは必ずつながります!!
みんなの力で八尾をおせっかい日本一のまちへ…

第4次八尾市地域福祉計画本編はこちらからご確認ください。
登場キャラクターの紹介や意見交換の様子も掲載しています。
https://www.city.yao.osaka.jp/kenkou_fukushi/chiiki_fukushi/1013519/1007749/1007765.html



お困りごとのご相談が必要な支援につながるよう、さまざまな相談窓口が
しっかり相談を受け止める連携体制を整備しています。
つなげる相談窓口一覧については、こちらからご覧ください。
https://www.city.yao.osaka.jp/kurashi_tetsuzuki/soudan/1003616/1003618.html



計画策定の趣旨

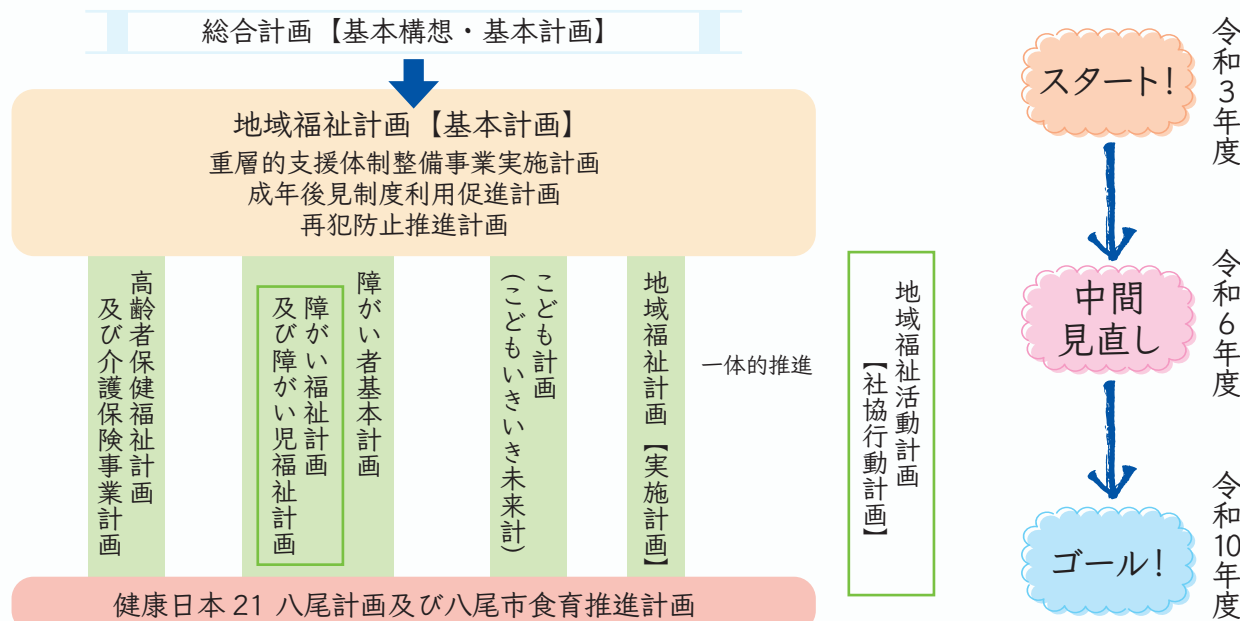
地域にはいろんな問題が…



「地域福祉」とは、すべての人が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、法律や制度による公的な福祉サービスだけではなく、みんながお互いに助けたり、助けられたりする関係やその仕組みをつくっていくことをいいます。

地域福祉計画と他計画との関係（体系図）

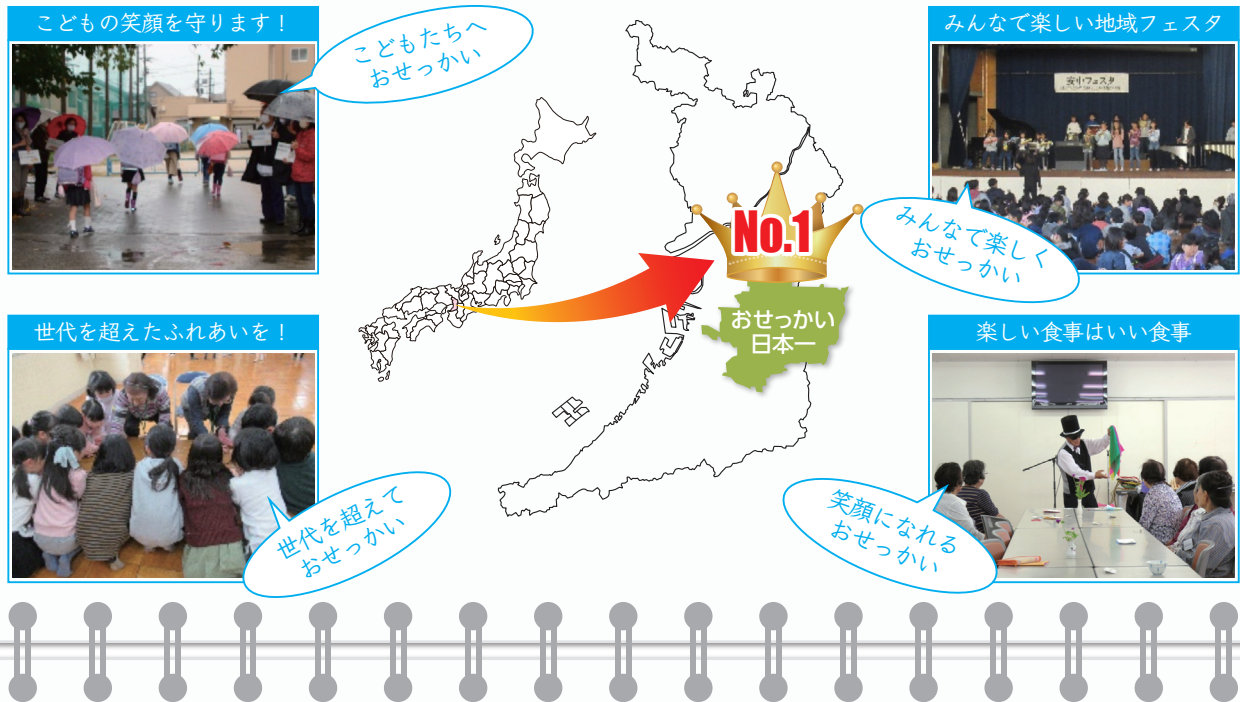
住民・地域・行政等が一緒になって、助け合いのまちづくりを計画的に進める道しるべとなる本計画は、総合計画の内容を踏まえつつ、福祉以外の計画とも連携しています。



基本理念

誰ひとり取り残さない しあわせを感じる共生のまち ～ おせっかい 日本一 ～

マイナスイメージもある「おせっかい」、本市では、困っている人を放っておけない八尾市民の「ほっとかれへん」「おもしろい」の気質が生み出す「おせっかい」を天分ととらえ、この「おせっかい」によって「誰ひとり取り残さない しあわせを感じる共生のまち」をめざします。



計画の目標（基本目標）

基本目標 1

身近な地域でつながり
支え合う基盤づくり

- 地域を舞台にさまざまな人や団体が行っている「おせっかい」活動をもっともっとパワーアップ
- 市や関係機関が、新たな事業展開や環境整備を地域とともに展開
- あらゆる機関、あらゆる人が支え手・受け手の関係を超えて、つながり、支え合う基盤づくりに取り組む

基本目標 2

多様な主体の
参加支援と
連携・協働の推進

- 地域に住んでいる、また、活動するすべての人が、地域を好きになり、しあわせを感じて暮らしていけるよう、3つのおせっかいを実行
 - ①市民へのおせっかい
 - ②地域へのおせっかい
 - ③企業等へのおせっかい

基本目標 3

身近な地域で
支援が届く
しくみづくり

- 暮らしを支える関係事業の充実
- 地域で盛んに行われている地域福祉活動の情報共有
- 専門機関等がしっかりとタッグを組んで課題を解決できるよう、「つなげる支援室」がコーディネート。社会福祉法人等とも連携した継続的な支援
- 課題を抱える人や世帯をまるごと支援する専門職等によるおせっかい体制をつくり、誰ひとり取り残さない支援を行う

計画の体系

基本理念

誰ひとり取り残さない
しあわせを感じる共生のまち
「おせっかい日本一」

基本目標

1
身近な地域でつながり
支え合う基盤づくり

2
多様な主体の
参加支援と
連携・協働の推進

3
身近な地域で
支援が届く
しくみづくり

実行計画

(1) 地域福祉への意識、関心の啓発・醸成

(2) 地域力向上に向けた支援

(3) 見守り・早期発見のしくみづくり

(1) 地域福祉への意識、関心の啓発・醸成

(2) 地域福祉の担い手のすそ野拡大

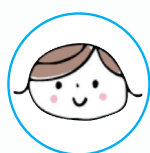
(3) 多様な主体との連携強化

(1) 地域の権利擁護の推進

(2) 生活困窮者への支援

(3) 災害時要配慮者への支援づくり

(4) 地域機関協働による地域生活課題を解決するしくみづくり



上記体系図のとおり、3つの基本目標に対して10の実行計画を設定し、各実行計画の進捗状況を毎年確認しながら計画を推進しています。
次のページからは、10の実行計画の取組み内容について記載しています。
取組みはたくさんありますが、**おせっかい日本一**の実現に向けておもしろい
一つです!!



改定版のポイント

- 八尾市は令和5年度から重層的支援体制整備事業をスタート。誰ひとり取り残さない相談支援体制を構築し、さらなる発展をめざします。
- コロナ禍を経て気づかされた孤立する人や家族の存在。そこに手を伸ばすことのできる人づくりや地域でのつながりの場づくりに力を入れます。
- 地域で活躍できる新たな人材確保のために、SNSなどを上手に取り入れていきます。

私たちは、市民のみなさんと一緒にこんな取り組みをやっていきます！

基本目標 ①



身近な地域でつながり支え合う基盤づくり

(1) 地域福祉への意識、関心の啓発・醸成

- ① 地域福祉が「身近にあること」「頼れる味方であること」「おおきなやりがいがあること」など、**地域福祉の魅力を伝える**ためにたくさん発信をします。
- ② こどもも大人も一緒に地域でできることを考えて学ぶことのできる機会を増やします。お互い様の気持ちから「**おせっかい**」を浸透させていきます。
- ③ 地域で活動するすべての主体が、ともに理解し合い、認め合える**人権を尊重した地域づくり**を行います。

(2) 地域力向上に向けた支援

- ① 地域がアイデアを出し合い「**やってみたい」「やってみよう**」と思ったことを実現できるよう、地域の中でたくさんの人がつながる機会を増やします。
- ② 地域同士の交流を深め、お互いの活動を高めながら、**地域拠点で活躍する専門職などによる支援を充実**させます。
- ③ **紙媒体もSNS等も活用**して、それぞれの団体や地域が自らの活動を見せ合ったりほめあったりして地域のモチベーションを高めていきます。

(3) 見守り・早期発見のしくみづくり

- ① すべての住民やそこにある企業や商店も巻き込んで、ちょっとした工夫や学び合いの場を増やし、支援の必要な人を「**見つける力**」を養います。
- ② 地域住民みんなが緩やかにつながり、地域になじめるような仕掛けづくりに取り組みます。**地域の中の「見つける力」**をつなぐことで、見守りのネットワークをつくり、「誰ひとり取り残さない」地域づくりを行います。



基本目標 ②

多様な主体の参加支援と連携・協働の推進

(1) 幅広い市民の参加促進

- ① 地域の中で気軽に交流できる場所を増やし、知ってもらうことで、あらゆる市民が**地域で自分の居場所を見つけ**、誰かとつながれることをめざします。
- ② こどもや若い人が参加しやすい活動スタイルを取り入れ、**新たな地域活動の場や機会**をつくっていきます。

(2) 地域福祉の担い手のすそ野拡大

- ① 「おせっかい」の精神を伝え・広げ、地域の**「おせっかい人材」を見つけ、育てる**ことに取り組みます。
- ② 市民や地域の**ニーズにあったボランティアを育成、支援**し、各ボランティアの特長を活かして活動できるよう社協がリードします。
- ③ 住民同士で助け合う活動を行うしくみとして、**有償による新たな「おせっかい」のしくみ**をひろげていきます。
- ④ 複雑化する市民ニーズに対応するため、専門的なスキルを高める人材育成に力を入れます。また、社協や事業者と一緒に**福祉のプロの確保や育成**に取り組めます。

(3) 多様な主体との連携強化

- ① 地域と**企業、NPO、学校等が日ごろからつながり**、ともに課題解決を行えるしくみをつくれます。
- ② 市内の社会福祉法人が取り組む**多様な地域貢献活動を発信**するとともに、社会福祉法人と連携した新たな地域づくりを進めていきます。
- ③ 社協の策定する「地域福祉活動計画」とも目標を一にして、**ともにおせっかい日本一をめざ**します。

基本目標 ③



身近な地域で支援が届くしくみづくり

(1) 地域の権利擁護の推進

- ① DVなどの**暴力**、子どもや高齢者、障がい者への**虐待は「ぜったい許さない意識」**を高め、みんなで見守る地域づくりをします。
- ② 判断能力が十分でなくても、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、成年後見制度の利用などで安心して**自分らしく生活が送れるよう支援**していきます。

(2) 生活困窮者への支援

- ① 自らSOSを発信できない人にアウトリーチをする（こちらから出向く）ことで**誰ひとり取り残さない相談支援**を行います。
- ② 福祉分野だけでなく、広く連携をすることで、**多様な働き方ができる場づくりや社会参加の場づくり**を進めます。
- ③ たくさんの関係機関がつながり、地域の中での見守りとの連携プレーで**生活困窮者をまらんと支援**します。住まいに関する相談支援にも力を入れていきます。

(3) 災害時要配慮者への支援づくり

- ① 「災害時に誰も取り残されことなく、安全な場所に移動・避難すること」をめざし、地域と行政、福祉事業者が、**支援の必要な人それぞれの避難計画**づくりに協力します。
- ② 地域における住民同士の関係づくりは、災害時の避難支援においても役立ちます。そのため、災害時に支援の必要な人の情報を活用した地域での取り組みをサポートします。

(4) 支援機関協働による地域生活課題を解決するしくみづくり

- ① 市民がどこに相談しても必要な支援につながるよう、相談窓口がしっかり相談を受け止めて適切な相談支援機関などにつなげるよう、市の「つなげる支援室」がコーディネートして、**断らない相談支援体制をさらに強化**していきます。

あなたのやってみたいことは
見つかりましたか。
私たちと一緒にぜひ今日から
始めてみましょう



第4次八尾市地域福祉計画（改定版） 概要版

八尾市 健康福祉部 地域共生推進課
〒581-0003 大阪府八尾市本町一丁目1番1号
電話 072-924-3835
市ホームページ <https://www.city.yao.osaka.jp/>
刊行物番号「R6-222」